

タイトル：農と住の調和したまちづくりの提案と資金対応
JA名：JAならけん（奈良県）

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を所有している農協組合員のなかには、近年の営農環境や生活環境の急速な変化と、農業従事者の高齢化、後継者問題、固定資産税や相続税等の負担に頭を悩ませている方が多くなっています。 ・一方で、いざ土地活用の意向があっても、「道路がない」、「上下水道などが未整備のまま」、「自分の土地だけでは活用が難しい」など、「評価はあるものの活用できない土地」を抱えているケースがあります。また環境が変化しても、形は変われども農業を継続し続けたいとの意欲ある農業従事者の声もあります。 ・こうした悩みに対し、JAならけんでは資産管理事業部が不動産を専門に取り扱う本店直轄部署として土地に関するさまざまな相談を受け付けるとともに、従来より融資部が同部と連携し同事業にかかる組合員を中心とした顧客の資金相談に応じているものです。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・JAならけんでは「農と住の調和したまちづくり」をテーマに資産管理事業部の組織する農住組合による新しい街づくりを行っています。 ・具体的には、上述の「評価はあるものの活用できない土地」を抱える地主の組合員の協力により農住組合を組織し、土地区画整備事業を展開する一方、テーマに基づいた「AGRIA」を企画・プロデュース、一団の街としての整備を進め、住宅ハウスメーカーにて統一した建物を建築することにより街並の景観を整え、土地の価値を高めるのはもちろんのこと農業も継続できる環境作りの実現をサポートしています。 ・また、総合事業の強みを発揮した提携住宅ローンを提案、地域の資金ニーズに積極的に応えています。 ・以上のように、農協の地域における役割を十二分に発揮し、そのなかで環境に応じた“農協らしさ”を全面に出した提案を行うことで、農協組合員と地域に住まわれる方双方のニーズを満たしています。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに「天理岩室」、「内膳町」、「斑鳩」にて展開、住宅分譲を行っており、これにより地域の活性化に貢献しています。 ・住宅ローンの相談等を通じ新たな組合員との関係を構築、“地域とあゆむJAならけん”の総合力を発揮し様々な事業から協同の理念に基づく活動()を展開し、新興住宅における新たなコミュニティ育成にも寄与しています。 ()JAならけん信用事業における組織活動の主な例：「年金友の会」、「キッズクラブ」、「エール55」
4 今後の 予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内組合員の土地活用ニーズのさらなる発掘 ・街づくり、地域活性化の提案・サポートを促進し、提携ハウスメーカーと連携し情報発信を強化。

